

きずな通信

<令和6年第3回・第4回定例会号> 第77号

渋谷区議会議員 薬丸義人



シブヤを笑顔にする会
《区役所》渋谷区宇田川町 1-1
TEL 03-3463-1211
《自 宅》渋谷区恵比寿 2-17-20
TEL 03-3444-7575
✉ yakumaru@sky.plala.or.jp



- ◆第3回(9/17~10/17)・第4回(11/22~12/7)定例会を開催
- ◆第3回定例会初日の本会議で薬丸義人が代表質問登壇(1,2面)
- ◆9/19の議会で薬丸義人が決算特別委員会委員長に就任(3面)
- ◆客引き禁止条例を全部改正し過料徴収など規制を強化(3面)

◆本会議 会派代表質問（一部抜粋）



掲載したのは質問の一部です。渋谷区議会ホームページ「議会中継」から質問の動画もご覧ください。質問と答弁で約90分です。



[質問動画]
←こちらから

10月までハチ公生誕100年を祝して、議場に『SHIBUYA ❤ HACHI』が鎮座していました。帽子とマフラーはペルー共和国リマ市ミラフローレス区からの贈り物です。



●まちづくりについて

薬丸 災害に強くバリアフリーで快適な歩行空間確保のため、区内の無電柱化を進めてもらいたい。まずは「無電柱化推進計画」を早急に策定すべき。また歩行者通行が集中する商店街を優先的に推進してもらいたい。

区長 元日の能登半島地震、8月の宮崎県沖日向灘地震の被害状況から、改めて首都直下地震への備えについて考えさせられた。無電柱化推進を目指し、「渋谷区無電柱化推進計画」の策定に向け準備を進める。商店街の無電柱化は地上機器の設置場所確保などの技術的な課題があるが、実現に向けて研究していく。

薬丸 台風や強風により、広尾ガーデンヒルズと渋谷宮益坂の街路樹が倒れた。ゲリラ豪雨や突風等の異常気象が続く昨今、倒木の危険性は高まるばかり。区内街路樹・公園樹木の検査について、区長の所見を伺う。

区長 倒木した2路線の街路樹約140本について、緊急的に樹木医による詳細な調査を実施する。さらに他路線についても順次、街路樹診断の実施に向け準備を進める。公園樹木については「街路樹診断等マニュアル」を参照し、優先順位を付けて必要な診断を実施する。

●まちづくりについて(続き)

薬丸 コロナ後のインバウンドの増加に伴い、駐車する観光バスで明治通りなど渋谷駅周辺は大渋滞となっている。東京都は「観光バス駐車対策の取組主体は区市町村」としている。区はどんな対策をとっているのか。

区長 今年度中に渋谷駅周辺の観光バス駐車状況を調査する予定。今後、都や警察と連携し対策を進める。

●地域振興について

薬丸 町会への加入促進のため、オンライン申込を導入してはどうか。また町会費の集金についてもオンラインでできるよう支援してもらいたい。こうした町会のデジタル化に関して、社会貢献として協力・サポートしてくれる企業を募ってはどうか。

区長 町会の加入促進は大きな課題。昨年度からLINEを活用した支援に取り組んでいるが、議員提案の加入手段を増やすことも有効。導入自治体の仕組みや効果を分析し検討する。町会費集金のオンライン化はセキュリティなど様々な課題を調べて検討していく。本区にはIT企業はじめ多様な企業が集積しているので、まずは町会からのニーズを調査し、企業との協力について検討していく。

●防災について

薬丸 台風接近やゲリラ豪雨に備え、水嚢(土嚢は土、水嚢は水を使用。大きいごみ袋を数枚重ねて水を入れて作る)の使い方を防災アプリで周知してはどうか。また、床上浸水した家庭への消毒薬・薬剤噴霧器の貸し出しをしてはどうか。

区長 家庭で対応できる水嚢等の情報は極めて有益。防災アプリの次期改定時に内容を掲載したい。消毒薬等の配布は現在行っていないが、水害が頻発しているので今後検討したい。

薬丸 災害時に区職員を派遣した自治体から、実際に避難所運営をしてみて分かった課題点などの聞き取りをしてはどうか。↗

●福祉について

薬丸 水道道路沿いの都営住宅は、今後20年間で27棟全てが建替えとなる。渋谷区が今必要としている福祉施設等を建替え後の都営住宅に組み入れてもらえるよう、早い時期から東京都に強く申し入れてもらいたい。

区長 東京都の地域開発整備事業等を活用し、本区の課題の一つである障がい者福祉施設を整備することについて検討していく。丁寧に都や関係者との意見交換を行いながら調整を進めていく。

●健康について

薬丸 40歳になっていないために介護保険の対象外となっているAYA世代※のがん患者の方に対する「在宅療養支援」を導入してもらいたい。

※AYA世代…Adolescent & Young Adult 主に15歳～30歳代

区長 現在、40歳未満のがん患者が介護サービスを受ける場合に全額自己負担となり、特に在宅療養を行う場合の大きな負担となっている。そのため、がん患者及びその家族の経済的な負担軽減のため、若年がん患者在宅療養支援制度を新設し、訪問介護などの居宅サービスや車いすなどの費用の一部助成を検討する。

↗**区長** 東京都や23区による「特別区防災担当課長会」の中で提案し、項目を精査したうえで被災自治体への聞き取りを行い、その内容を都区で共有できるよう調整を進めたい。

薬丸 福祉避難所について、今後の整備・拡充の見通しを伺う。また、福祉避難所に関しても、当事者を含めた「避難所開設・運営訓練」が必要ではないか。

区長 12月開設の「りばあさいど原宿」を障がい者受け入れの福祉避難所として新たに指定。福祉避難所訓練については、今後、まずは両職員による避難所施設での開設・運営訓練を計画・実施し、その後、当事者も交えた訓練の具体的な検討を進める。

◆10月17日の本会議で令和5年度の各会計歳入歳出決算を賛成多数で認定

9月19日の本会議で決算特別委員会を設置し、委員長に薬丸義人、副委員長に近藤順子議員が就任しました。委員会では総務・区民環境・文教・福祉保健の各分科会を設け、各事業の予算執行が適切に行われたかを厳しく審査しました。



※1 予算現額…当初予算とその年度の補正予算を合計した額

※2 予算執行率…予算現額に対する歳入・歳出決算額の割合

特別会計《介護保険事業会計》

予算現額	164億2507万2000円
歳入決算額	160億7117万3435円
歳出決算額	157億7799万0033円
差引残額	2億9318万3402円

(予算執行率:歳入97.8%、歳出96.1%)

一般会計

予算現額 ^{※1}	1361億1769万2000円
歳入決算額	1382億4101万8249円
歳出決算額	1251億1217万0813円
差引残額	131億2884万7436円

(予算執行率^{※2}:歳入101.6%、歳出91.9%)

特別会計《国民健康保険事業会計》

予算現額	265億4998万3000円
歳入決算額	246億6237万6634円
歳出決算額	241億6237万6634円
差引残額	5億0000万0000円

(予算執行率:歳入92.9%、歳出91.0%)

特別会計《後期高齢者医療事業会計》

予算現額	67億2294万7000円
歳入決算額	62億2862万5135円
歳出決算額	62億1633万4448円
差引残額	1229万0687円

(予算執行率:歳入92.6%、歳出92.5%)

一般会計と3特別会計の歳入歳出決算合計額

予算現額	1842億7479万8332円
歳入決算額	1839億0751万0714円
歳出決算額	1695億8903万2341円
差引残額	143億1847万8373円

(予算執行率:歳入99.7%、歳出92.2%)

◆客引き禁止条例を全部改正し規制を強化

第4回定例会において「公共の場における客引き行為等の防止に関する条例」を全部改正し、過料^{※3}として50,000円の罰則を規定。これは法令による最高額です。※過料…刑事罰ではなく行政罰。区職員が徴収します。

また、禁止行為として、これまでの「客引き」「客待ち」「勧誘(スカウト)」「勧誘待ち」に加え、店舗やその経営者も罰則対象となります。また、虚偽報告や今回新設した「立ち入り調査」を拒否した場合も同様に罰則対象です。啓発区域については、これまでの渋谷駅・恵比寿駅・原宿駅周辺から、区内主要駅周辺に拡大します。



渋谷駅周辺の商店会から総意として陳情を受け、平成26年第1回定例会において「客引き禁止条例」の制定を当時の区長に提案しました。同年第3回定例会で成立しましたが、強く求めていた罰則規定は盛り込まれませんでした。10年かかりましたが、やっと罰則導入です！

◆令和7年度予算要望書を区長に提出

10月31日「シブヤを笑顔にする会」所属の議員6名で長谷部区長と面談し、来年度の渋谷区当初予算編成にあたっての「予算要望書」を提出しました。

会派及び各議員が日頃の活動を通して受けた陳情や要望、さらに渋谷区が抱える課題を精査し、所管別に164項目にまとめたものです。

議会各会派、区役所各部各課、教育委員会等から提出された予算要望は区長がとりまとめ、2月初旬に「令和7年度当初予算案」として公表、2月19日から始まる区議会第1回定例会で審議します。



要望書はこちらから

◆令和6年度 都区財政調整について

「渋谷区は大きな企業の本社とか有名な会社がたくさんあるから『お金持ち』の区なんでしょう？」よく聞かれる質問です。



実は本来企業が各区に納めるべき法人税(固定資産税・法人住民税・法人事業税等)については、23区の場合、例外として東京都が賦課・徴収して共通財源とし、消防、水道、清掃(一部)等を担っている都が44.9%を受け取り、残りの55.1%を23区に配分しています。これを都区財政調整制度と言います。本年度は23区に配分される普通交付金総額は約1兆1258億2012万円ですが、区民税などの収入が多かった渋谷区と港区は今回も不交付となりました。

23区の平均的な規模である『人口35万人規模の架空の区(標準区)』を想定し、まず、その標準区が必要となる年間経費を算出します。これをもとに各区の人口・道路面積・児童生徒数等に応じて増減させたものが各区の「基準財政需要額」(区政運営に必要な額)です。これと「基準財政収入額」(区民税・軽自動車税・たばこ税・地方消費税等)の差額で交付金は決定します。こうして23区の財源の均衡を図っているのです。渋谷区の算定は収入額が626億7822万4千円で、必要額が616億9539万1千円。差引き9億8283万3千円の収入超過でした。



令和6年度 都区財政調整普通交付金 (単位:千円)

	基準財政収入額 (区民税等) A	基準財政需要額 (必要な額) B	普通交付金 B-A
千代田区	29,893,444	34,112,947	4,219,503
中央区	40,907,290	58,719,267	17,811,977
港区	92,966,181	75,034,417	0
新宿区	61,069,014	87,809,428	26,740,414
文京区	40,931,486	64,561,451	23,629,965
台東区	30,202,570	59,315,505	29,112,935
墨田区	34,000,817	77,460,353	43,459,536
江東区	69,905,623	138,362,603	68,456,980
品川区	63,847,136	107,554,409	43,707,273
目黒区	51,271,898	69,476,948	18,205,050
大田区	95,473,611	173,916,151	78,442,540
世田谷区	142,908,532	204,215,822	61,307,290
渋谷区	62,678,224	61,695,391	0
中野区	43,703,915	84,043,234	40,339,319
杉並区	78,714,778	129,631,679	50,916,901
豊島区	41,432,226	74,714,246	33,282,020
北区	39,938,346	98,756,464	58,818,118
荒川区	23,928,550	68,147,202	44,218,652
板橋区	62,479,045	144,610,769	82,131,724
練馬区	85,900,174	184,643,691	98,743,517
足立区	69,691,070	179,677,456	109,986,386
葛飾区	46,812,691	131,077,736	84,265,045
江戸川区	73,539,617	181,564,590	108,024,973
計	1,382,196,238	2,489,101,759	1,125,820,118

薬丸義人プロフィール

1964年6月23日(東京オリンピック)

渋谷区広尾の日赤にて誕生

(かに座、B型)

渋谷同胞幼・区立臨川小

明大中野中・高(剣道部)

明治大学政治経済学部 卒

1987年 東京トヨペット株入社

渋谷営業所配属

翌年、人事部へ異動

1992年 中央商工株入社(家業・民間車検工場、現不動産賃貸業)

2005年 第10回自動車整備技能競技東京大会で金賞受賞

2007年 初当選、2011年 2期目、2015年 3期目

2017年 渋谷区監査委員(議員選出)就任(~2019.5)

2019年 4期目当選、区民環境委員長就任(~2021.5)

2021年 副議長就任(~2023.4)

2023年 5期目当選

会派・委員会等所属

シブヤを笑顔にする会

福祉保健委員会副委員長／官民連携事業調査特別委員会委員

清掃・リサイクル審議会委員／消防団運営委員会委員



◆区議会の傍聴にいらっしゃいませんか



防音の親子傍聴席

議場には車いすスペースや親子傍聴席もあります。傍聴ご希望の方は庁舎13階の区議会フロアにお越し下さい。ご住所・お名前をご記入いただき、傍聴券をお渡しいたします。

★次回の渋谷区議会

令和7年第1回定例会は

2月19日(水)からの予定です!!



薬丸義人

ホームページ

Facebook

Instagram

TikTok



ホームページ <https://yakumaru.info>